



令和5年度全国学力・学習状況調査 結果

はじめに

本調査は、義務教育の機会均等とその水準維持向上の観点から、一定以上の教育水準が達成されているかどうかをきめ細かく把握することやその成果や課題を教育及び教育施策の改善に結びつけることなどを検証する目的で、小6、中3を対象に毎年実施されています。今年度は4月18日に国語、数学、英語及び生徒質問紙を、19日には英語（話すこと）を実施しました。その結果と本校の状況についてお知らせします。今後、更なる分析を行い、成果や課題を明らかにしながら生徒の学びの質の向上や学校生活の充実に向けて工夫改善していきます。ご家庭でもご理解・ご協力くださいますよう、お願いいたします。

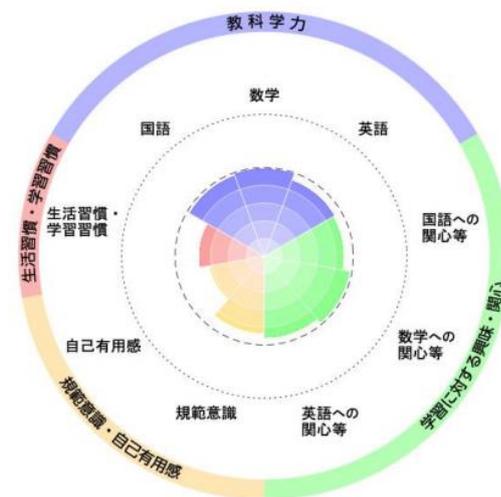
1 調査結果概要

	平均正答率 (%)			全国を100とした場合	
	本校	北海道	全国	今年度	(参考) 昨年度
国語	68.0	69	69.8	99	101
数学	49.3	49	51.0	99	97
英語	39.4	44	45.6	97	
英語（話すこと）	12.0	—	12.4	97	

円の中の点線が全国の数値と考えてください。

本校の生徒は、特に「自己有用感」が低く、**自分に自信が持てない生徒が多い**という傾向です。また、「生活習慣」「学習習慣」「規範意識」等も全国・全道に比べ低い傾向がみられます。

学習に対する関心も低く、意欲が取組に、取組が学力につながっていない状況です。



2 各教科の状況(学習面)

▶ 国語

- ・知識及び技能のうち、「言葉の特徴や使い方」「情報の扱い方」は全国・全道平均を上回っています。
- ・思考力、判断力、表現力は全国・全道平均に届いておらず、特に「書くこと」が課題です。
- ・問題形式別では、記述式の問題において、特に文章の構成や展開、表現について根拠を明確にして考えることに課題があります。

□ 今後の取組

- 「自分の考えを書く」「自分の知識や経験に触れながら書く」ことを苦手としている生徒が多いです。話すこと、書くこと領域においた言語活動と各単元の振り返りの機会を通して、意図的に自分の言葉で

表現する機会を設定します。

- 意見と根拠の結びつき、文章の構成や展開、表現の効果、根拠を明確にして「自分の考え」を書く・話す言語活動を意図的に取り入れます。
- 古文や漢文特有のリズムを声に出して味わうとともに、文語のきまりなどくり返し問題演習に取り組む学習を継続します。

▶数学

- ・全国平均には及ばないものの、全道平均と同等の正答率となりました。
- ・「データの活用」が全道・全国平均を上回りましたが、「図形」の平均正答率が低く、課題です。
- ・思考力、判断力、表現力については、全国・全道平均に届いていません。特に問題形式別では、短答式（計算をして答える）問題について得意の傾向ですが、説明・証明等の記述式の問題で課題があります。

□今後の取組

- 基本的な計算力の向上…分数を含む分配法則の計算が全国平均を下回っています。そのため、基本的な計算問題に継続的に取り組ませます。
- 「比較する活動」の増加…「他者の証明の続きを記述する問題」も全国平均を下回っています。証明問題を、自分の言葉や表現で記述できる生徒が多い反面、問題に即した言葉や数学的表現を用いて証明ができる生徒は少ないです。そのため、他者の証明と比較したり、証明の正誤を判定したりする活動を多く取り入れることで、問題に即した解答ができることを目指します。
- 根拠の明確化…問題に対しての解法の選択は正しくできていますが、「なぜその方法で問題が解けるのか（例えば、比例のグラフが直線なのはわかっているが、なぜ直線になるのか）」根拠が答えられない生徒が多いです。そのため、「どの解法をどの場面でなぜ使うのか」をキーワードに授業を行います。
- 問題文の数学化…日常生活に即した問題が多く出題されていますが、文章量が多いため、問題の意図を正しく理解できていません。授業では日常生活に即した問題を提示し、数学的に解釈する活動を増やします。

▶英語

- ・全国・全道平均に達しておらず、領域別では特に「読むこと」「書くこと」の正答率が低いです。
- ・思考力、判断力、表現力については、全国・全道平均に届いていません。
- ・問題形式別では、短答式（短く英単語等で答える）問題や記述式（まとまりのある英語の文章を書く）問題について、無回答率が高く、苦手意識が大きいと捉えています。

□今後の取組

- 店や公共交通機関などで用いられる簡単なアナウンスや日常会話での説明、連絡、天気予報、交通情報など自分の置かれた状況等から判断し、必要な情報を聞き取る力を身に付けるよう、学習過程を工夫します。
- 文章全体を通して読み、複数の情報の中から書き手が最も伝えたいことは何かを判断して捉えることができる学習過程を工夫します。
- 読んだことを基に、また根拠を示しながら、自分の考えとその理由を書く取組を継続します。

▶英語（話すこと）

- ・全国・全道平均に達しておらず、どの設問も無解答率が高いです。
- ・やりとりでは、英語を聞いて即興で応答したり、発表では自分の考えと根拠や理由を説明したりすることに課題があります。

□今後の取組

- ・日常の授業の中で、短い即興的な会話をしたり、自分の意見や考えとその根拠を説明するなど、まとまりのある発表をする場面を設定したりするなど、指導方法を工夫します。

3 生徒質問紙の状況(生活面) ※肯定的な回答の割合

▶学習方法、取り組み方

学習の中で ICT 機器を使うのは勉強の役に立つ	88%
授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていた	65%
話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりする	75%
分かった点や分からなかった点を見直し、次の学習につなげる	65%
(国語) 聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫している	52%
(国語) 根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いている	52%
(英語) 英語を聞いたり読んだりして、概要や要点をとらえる	(聞) 64% (読) 69%
(英語) 即興で自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動をした	56%
授業で学んだことを、ほかの学習で生かしている	67%
各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った	65%

◆課題

- ・「この時間(又は単元)でどのような力を身に付けたいか」「どのような学びの見通しを持つか」を教師・生徒が十分共有できておらず、生徒にとって受け身の授業となっている教科があります。
- ・「根拠を持つこと」「筋道を立てて話すこと」など、授業の中で生徒の「なぜ？」を大切にしたい授業展開が充実できていません。

□今後の取組

- ・生徒が見通しを持ち、より主体的に取り組めるような授業展開を、今後も工夫していきます。
- ・自分の考えを持たせ、それを他者に伝えたり、話し合いなどで練り上げながらより良い解に結び付けるよう、授業の進め方を工夫します。

▶自己肯定感・自己有用感

自分には、良いところがあると思う	75%
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある	83%
先生は、あなたの良いところを認めてくれると思う	81%
学校に行くのは楽しい	69%
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる	46%

▶他者との関わり、相手意識

人が困っているときは進んで助けている	92%
人の役に立つ人間になりたい	92%
友達関係に満足している	88%
いじめは、どんな理由があってもいけない	87%
自分と違う意見について考えるのは楽しい	75%
学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めている	73%

自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなど工夫して発表した	64%
話し合いを生かして、今自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる	58%
(国語) 自分の考えをわかりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫している	52%

▶ 学習意欲・生活習慣

学校に行くのは楽しいと思う	69%
課題解決に向け、自分で考え、自分から取り組んでいた	83%
将来の夢や目標を持っている	44%
家で自分で計画を立てて勉強している	50%
平日の家庭学習時間2時間以上(1時間以上)	15%(58%)
休日の家庭学習時間2時間以上(1時間以上)	28%(53%)
朝食を毎日食べている	83%
毎日同じくらいの時刻に寝ている	77%
毎日同じくらいの時刻に起きている	96%

▶ 各教科の学習意欲等

	勉強が好き	大切だ	よく分かる	将来役に立つ
国語	60%	90%	83%	90%
数学	58%	85%	65%	85%
英語	44%	87%	63%	85%

◆ 課題

- ・生徒の考えや思い、悩みなど、カウンセリング等を含めて十分受け止めることができていません。
- ・生徒にとって「学校に来たら楽しいこと、いいことがある」などの魅力が十分伝わっていません。
- ・将来の夢や目標について考える場面や授業等の充実が必要です。
- ・規則正しい生活習慣について、「どちらかといえばしている」という消極的肯定の生徒の割合が全国・全道に比べ大きいです。

□ 今後の取組

- ・「傾聴・受容・共感」の姿勢で生徒の話聞くことを今後も大切にしていきます。
- ・授業や各行事等、生徒が夢中になる場面となるよう、活動内容や指導方法を工夫します。
- ・系統的なキャリア教育で、夢や目標を持たせ、学習意欲や進路意識につなげるよう工夫します。
- ・規則正しい生活習慣について、学校でも指導を日常的に行っています。ご家庭でもご配慮、ご指導ください。お子さんの心身の安定がお子さんの心身の健康と学校生活の安定につながります。
- ・家庭学習の仕方について、「何のために、何を、どのように、どのくらい」など各生徒に応じた働きかけをアドバイスしたり、ICT機器を活用した家庭学習の方法についても継続的に指導します。ご家庭でもご理解・ご協力をお願いします。また、タメベンルームの活用を促したりしながら、生徒が主体的に学習する雰囲気醸成に努めます。

本校では、今後も日々の授業を大切に、学校目標「学びを未来につなぐ」の達成に向け、指導の工夫改善に努めてまいります。皆様のご理解、ご支援を重ねてお願い申し上げます。

本校HP : <https://mombetsu-j-mombetsu.edumap.jp/>
 ブログ : <https://mombetsu-j-mombetsu.edumap.jp/school-blog>
 PTA ブログ : https://mombetsu-j-mombetsu.edumap.jp/page_20220725021712

